

蔵の街並みキャンパス

19T5041K 廣川晃大

須坂市では現在、少子高齢化による生産年齢人口の減少、空き家の増加（2008 年～2013 年には 850 戸増）問題が起きている。空き家の増加は景観や衛生状態の悪化など周辺地域に悪影響を及ぼしている。一方、近年外国人（特に若い世代）が増加し、全国的に見ても、訪日外国人は増加傾向（2019 年、訪日外国人の人数は過去最高）にある。しかし、不法滞在や文化のすれ違い、不安定な雇用などさまざまな課題がそこにはある。また日本人においても、外国人に対して積極的な交流を求めない様子が伺える。そこで本提案では、旧越家住宅を外国人のためのゲストハウスとして展開する。北側に開かれた既存の広い庭では日本文化である和紙作りを体験してもらい、地域住民と一緒に体験することで、文化の理解とともにさまざまな人との交流を促す。さらに、実際に民家に住んでみることで、日本文化の良さだけでなく民家の良さにも触れてもらい、現在須坂市に有り余っている空き家を改修し、そこに住んでもらうことで、持続可能な須坂市の実現を目指す。